

「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンを実施します！

九都県市同時発表(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)

「九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会」では、ワンウェイプラスチック製品(使い捨てプラスチック製品)、容器包装、食品廃棄物の減量化やリサイクルを促進するため、「チャレンジ省資源宣言」事業を推進しています。この事業は、事業者の自主的な廃棄物の発生抑制や減量化などの取組を支援するとともに、その取組を広く域内住民に周知することで、持続可能な資源利用への転換に向けた消費者の選択を促そうとするものです。

この取組を多くの方に知っていただき、廃棄物の削減を更に推進するため、省資源化に取り組む事業者の取組を紹介するリーフレットの配布や、アンケート回答者を対象としたプレゼント企画などを内容とする「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンを実施します。

1 「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーン概要

「チャレンジ省資源宣言」を行った事業者が実施する、ワンウェイプラスチック製品や容器包装、食品廃棄物の削減の取組を紹介するリーフレットを、小売店舗の店頭や九都県市の公共施設などで配布します。

リーフレットに添付された専用はがき又はキャンペーン特設サイトからアンケートに答えて応募すると、ご家庭の生ごみから肥料を作る「ボカシコンポスト」や、省資源化に取り組む事業者の商品など素敵なプレゼントが抽選で当たります。

※詳細はキャンペーン特設サイトをご覧ください。

(<https://www.resource-saving.jp/challenge-2026campaign/>)



ボカシコンポスト
(イメージ)

2 キャンペーン応募方法・期間

(1) 応募方法：専用はがき又はキャンペーン特設サイトからアンケートに答えて応募

(2) 応募期間：令和8年10月1日(木)～令和8年12月14日(月)(当日消印有効)



キャンペーン特設サイト

3 PR

キャンペーンを周知するため、期間内に以下の通りPRを実施します。

(1) ウェブを活用したキャンペーン等の情報発信

○Instagram 広告

配信される広告を活用し、キャンペーンサイトへの誘導を図ります。

○Google ディスプレイネットワーク広告

ディスプレイエリアに表示される広告を活用し、キャンペーンサイトへの誘導を図ります。

○公式 SNS の運用

九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会公式 X (<https://x.com/kyutohaikibutsu>) 及び公式 Instagram (<https://www.instagram.com/kyutohaikibutsu/>) にて、キャンペーンの広報を行います。



(公式 X)



(公式 Instagram)

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(2) BEYOND SDGs エコプロにおけるPR活動

BEYOND SDGs エコプロ(※)に出展し、キャンペーンをPRします。

※毎年12月に東京ビッグサイトで開催されている環境配慮型製品・サービス(エコプロダクト・エコサービス)に関する一般向け展示会

【チャレンジ省資源宣言ポスターイメージ】



【PRポスターに掲載される各自治体マスコットキャラクター】



お問合せ先

資源循環推進課長 今村 Tel 045-671-2563



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンについて

「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンは、過度な資源利用の抑制・廃棄物の削減をするため、事業者の「チャレンジ省資源」の取組とその製品を紹介し、域内住民の意識向上を図るキャンペーンです。

1 「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーン

(1) 概要

店頭で配布されるリーフレットに添付された専用はがき、またはウェブサイトからアンケートにお答えの上、ご応募された方の中から、抽選で合計 120 名に賞品をプレゼントします。

- 賞品の内容：・ご家庭の生ごみが有機肥料や消臭液・活性液に大変身！
生ごみ処理機「ボカシコンポスト」(5名)
・協力事業者の商品詰め合わせなど (11 種類各 10 名) ※一部 20 名
- 応募期間：令和 8 年 10 月 1 日 (木) ～令和 8 年 12 月 14 日 (月) (当日消印有効)
※詳細はキャンペーン特設サイト (<https://www.resource-saving.jp/challenge-2026campaign/>) をご覧ください。

(2) スーパー・レストラン等での啓発ツールによる PR

下表の協力店においてポスターの掲出やリーフレットの配架を行い、各事業者の取組をご紹介します。

協力店舗数： 約 988 店舗

事業者名	協力店舗数
株式会社イオンフードスタイル	123 店舗
イオンリテール株式会社	66 店舗
株式会社エコス	38 店舗
サミット株式会社	126 店舗
生活協同組合コープみらい	90 店舗
生活協同組合ユーコープ	37 店舗
富士シティオ株式会社	48 店舗
株式会社ヤオコー	172 店舗
株式会社デニーズジャパン	約 209 店舗
株式会社東急ストア	79 店舗

(3) 協力事業者のオフィスや公共施設等におけるポスター掲出による PR

- 協力事業者のオフィスや域内の公共施設等にポスターを掲出し、普及啓発を実施しています。
- 実施期間：通年 (オフィス・施設により、掲出期間は異なります。)

(4) キャンペーン協力事業者

協力事業者 32 社 (50 音順)

小売・外食事業者 (13 社)

株式会社イオンフードスタイル、イオンリテール株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社エコス、サミット株式会社、株式会社シジシージャパン、生活協同組合コープみらい、生活協同組合ユーコープ、株式会社東急ストア、ネッスー株式会社、株式会社富士シティオ、株式会社ヤオコー、株式会社デニーズジャパン

製造事業者 (19 社)

アサヒ飲料株式会社、味の素 A G F 株式会社、江崎グリコ株式会社、株式会社エフピコ、キッコーマン株式会社、玉露園食品工業株式会社、サッポロビール株式会社、シーピー化成株式会社、Japan ZEN Circular 株式会社、中央化学株式会社、株式会社日清製粉グループ本社、日本ストロー株式会社、株式会社ファンケル、プリマハム株式会社、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社ヨコタ東北、リスパック株式会社、株式会社 Ripples

2 九都県市の取組

プラスチックごみや食品ロス世界的な問題であり、2015 年に国連サミットで採択された SDGs (持続可能な開発目標) では、2030 年までに食料の廃棄を半減することが掲げられています。

この状況を受け、九都県市では令和 2 年から「チャレンジ省資源宣言」を実施し、容器包装やワンウェイプラスチック製品 (使い捨てプラスチック製品)、食品廃棄物の削減に取り組む企業を応援しています。また、住民への普及啓発を通じて、持続可能な資源利用への転換を目指します。

～ごみの削減に向けて～

ごみを減らすために、消費者にもできることはたくさんあります。今回のキャンペーンをきっかけに、ごみの削減に取り組みましょう。

- ✓ 買い物際にはマイバックを持参して、不要なレジ袋をもらわないようにしましょう。
- ✓ 飲食店では自分が食べきれぬ分だけオーダーしましょう。
- ✓ 使い捨ての商品はなるべく使わず、環境に配慮しましょう。

～「チャレンジ省資源宣言」～

Challenge (チャレンジ：挑戦)：企業が環境のために様々な挑戦をして

Choice (チョイス：選ぶ)：消費者が環境のことを考えて商品・サービスを選ぶと

Change (チェンジ：変わる)：持続可能な世界に変わります。

ワンウェイプラスチック製品、容器包装、食品廃棄物を減らしたり、無駄にしないために企業が行う取組を応援し、住民への普及啓発を行うことで持続可能な資源利用への転換を目指しています。

チャレンジ省資源宣言ホームページ <https://www.resource-saving.jp/>



省資源宣言